

園町古錢出土地の九項目に互り、臨時委員佐藤虎雄・向居淳郎・柴田實三氏の執筆に係る。

前諸冊の體裁に倣つて、寫眞實測圖を豊富に用ひ、記事の明確を期してゐるが、就中東車塚庭園は建築造園に關しても各専門學者の報告を併載して、綜合的見地から史蹟としての價値が鮮明にせられてゐる。

又今日退轉して史蹟としての鑑定的素材の湮滅して了つた清和院、今尚活用せられて趾とは稱せられず、その爲に斯界の注意を惹いてゐない羽束帥川に就いて、博く記録を探り、此等の史蹟の内に秘められた歴史の意義を前景に抽出して、明確に此を敘述してゐるのは、京都府が古來我國文化の中樞地として、古文獻の遺存するもの多きに基くと云へ、その勞や思ふべく史蹟顯彰の目的より見て注目すべき報告である。「本文四六倍版一四五頁、圖版五二葉、京都府刊、非賣品」〔赤松〕

彙報

●故今西博士著作目錄增補

- 朝鮮寺刹史料を紹介す 佛敎史學 一編 九號
- 鄭鑑錄解題 同 一編 十號
- 朝鮮智異山華嚴寺緣起につきて 同 二編 八號
- 高麗普覺國尊一然につきて 藝文 九年七號八號
- 正徳刊本三國遺事に就て 典籍の研究 第五號第六號
- 樂浪帶方につきて 文敎の朝鮮 第四十一號
- 順庵安鼎福自筆の著述目錄 京城雜筆 昭和四年五月號
- 全羅北道西部地方旅行雜記 文敎の朝鮮 第四十五號
- 第四十六號 第五十八號 第六十號
- 第六十一號 第六十三號
- 膺作金陵信平濟頌碑文と扶錄 朝鮮及滿洲 昭和四年六月號
- 新羅圓光法師傳 思想と生活 昭和四年七月號
- アレキサンダー、テヨーム、ケロエシ傳 朝鮮及滿洲 昭和四年七月號八月號
- 百濟史講話(未定稿) 文敎の朝鮮 第五十九號
- 第六十七號 第七十五號 第七十七號
- 第七十八號 第七十九號 第八十號
- 第八十一號

●島田貞彦氏を送る

本誌創刊以來、本誌編集・庶務・會計委員として盡力されし島田貞彦氏は、今般關東廳旅順博物館主任に榮轉され、去る七月二十五日同地に向けて赴任された。同地は氏の考古學研究と縁淺からぬ地なれば、氏は今後斯學の爲に益々貢獻されるであらう。追て氏は近く京都帝國大學文學部講師に就任される由なれば、大學との關係も愈々深かるべく、本誌に對しても亦不變の關心を向けられるべきを信じ、又それを祈る次第である。(水野、井上)

●讀史會

例會 六月二十日午後七時より樂友會館第一號室に於て開催
西田教授以下二十二名出席、左の研究發表ありて十時半散會。
鎌倉時代の小説と時代思想 山本正 信氏
鎌倉武士道徳の一方面 藤直 幹氏

會 報

●寄贈交換圖書雜誌目錄

田中萃一郎史學論文集 三田史學會
異本 對照大塔物語 信濃郷土研究會
史學雜誌 四三の七、八、九 史學會

會 報

歴史地理 六〇の二
信濃 六、八
考古學雜誌 二二の六、七、八
國立北平圖書館館報 六の一、二
民俗學 四の六、七
國學院雜誌 三八の七、八、九
人類學雜誌 四七の六、七
史迹と美術 二〇、二一、二二
雲泉莊山誌
西洋史研究 一
經濟論叢 三五の一、二、三
朝鮮史 一の一、二、二の一
歴史と國文學 七の一
史跡名勝天然記念物 七の七、八、九
龍谷史壇 一〇
怒佐布政呂 四
史潮 二の二
滿蒙地理歴史 一
伊豫史談 二
商業と經濟 一三の一
史苑 七の四
國史教授資料 四
史淵 四

日本歴史地理學會
信濃郷土研究會
考古學會
國立北平圖書館
民俗學會
國學院大學
東京人類學會
史迹美術同政會
京都修學院杉浦三郎兵衛
東北帝國大學西洋史研究會

京大經濟學會
朝鮮總督府
太洋社
同保存協會
龍谷大學
同郷土研究會
大探史學會
奉天陸南地歴研究會
伊豫史談會
長崎高商研究會
立教大學
名古屋温故會
九大史學會

第十七卷 第四號

七〇九

Bibliotheca orientalis der Asia Major. Heft 2.
Mitteilungen des Seminars für orientalische Sprachen,
Westasiatische Studien. Jahrg. 34.2.

Seminar zur Orientalische Sprachen.

○會 員 動 靜

○轉 居

福岡市鳥飼五丁目八一九の一	玉泉大梁氏
東京市本郷區駒込淺藪町七〇	小島鉦作氏
旅順市常盤町一八	島田貞彦氏
神奈川県鎌倉町淨明寺宅間四七三	樋畑正太郎氏

○入 會

京都帝國大學文學部史學科	寺田善次氏
京都帝國大學文學部西洋史研究室	水川温二氏

(右紹介 井上智勇氏)

○退 會

濱田 廉氏
米田 恭禮氏